

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育相談支援	演習	1	森合 真一

記載不要

#### 【授業のテーマ及び到達目標】

保護者への支援を保育者の役割として認識し、そのスキルを学ぶことが本科目のテーマである。このような視点に立って、以下の4項目を到達目標とした授業を進めます。

1. 保護者支援の内容・方法・技術について説明できる。
2. 保護者支援に関する計画・記録・評価について説明できる。
3. 通所施設における保育相談支援について説明できる。
4. 入所施設における保育相談支援について説明できる。

#### 【授業の概要】

保育士は単に保育サービスを子どもに提供するだけでなく、子育て家庭をも含めて子どもを支援する役割を担っている。子育てに戸惑う親は多く、保育士は子育てをする親にとって身近な専門職である。本科目は、子育て保育相談支援の意義・原則や基本的なスキル、また、さまざまな保育相談支援の場面における実際について学ぶことで保護者支援に対する理解を深め、多様な側面から保護者を捉え支えること、いかに現場において保育士が保護者にとって重要な役割を果たしているのか、その専門性とはどのようなもののかなどを理解するものである。

#### 【全体の授業計画・内容】

##### 1. 保育相談支援とは

事前学修課題: シラバスを読み、テキストの該当項を熟読する【0.5 時間】

事後学修課題: 各自、配布されたレジュメを整理し、理解する。【0.5 時間】

##### 2. 保育士の専門性を生かした支援

##### 3. 保育相談支援の実際

##### 4. 子どもの最善の利益の重視

##### 5. 保護者とのパートナーシップ

##### 6. 特別な対応を要する家庭への支援

##### 7. 保護者のエンパワメント

##### 8. 信頼関係を基本とした関わり

##### 9. 社会資源の活用と関係機関

##### 10. 要保護児童の家庭に対する支援

##### 11. 保護者に伝わる保育指導

##### 12. 保護者支援の方法と技術

##### 13. 保護者支援の内容① 信頼関係を築くスキル

##### 14. 保護者支援の内容② バイステックの7原則

##### 15. まとめの問題演習

一斉試験

#### 【学習のあり方】

日頃から社会情勢や社会問題に関心を持ち、ニュースに触れるよう心掛けましょう。

講義には指定のテキストが必要です(参考文献は不要)。必ず持参すること。

講義後、レジュメ等を使用して復習しましょう。

**【成績評価】**

試験が 80%、平常点(講義中の態度や意欲など)が 20%で評価をします。

**【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】**

必要があれば、課題にコメントを記入し返却します。

**【テキスト】**

改訂版 保育相談支援／林 邦雄・谷田貝公昭 監修／一藝社、2018 年

**【参考文献】**

子育て支援－15 のストーリーで学ぶワークブック／二宮祐子 著／萌文書林、2018 年

**【実務経験の有無】**

社会福祉士(ソーシャルワーカーの国家資格者)として福祉施設、開業社会福祉士、市教育委員会におけるスクールソーシャルワーカーの経験を生かし、ソーシャルワーク実践を「保育士におけるソーシャルワーク」という視点で授業を行う。